

日本大学経済学部  
安藤至大ゼミナール

2019年11月4日  
3号館3102教室

# 本日のゼミナール説明会

## 1. 担当教員による説明

1. 安藤ゼミで何を学ぶのか
2. 担当教員の紹介
3. ゼミでの活動内容
4. ゼミの第2期生に求めること

## 2. 学生による説明

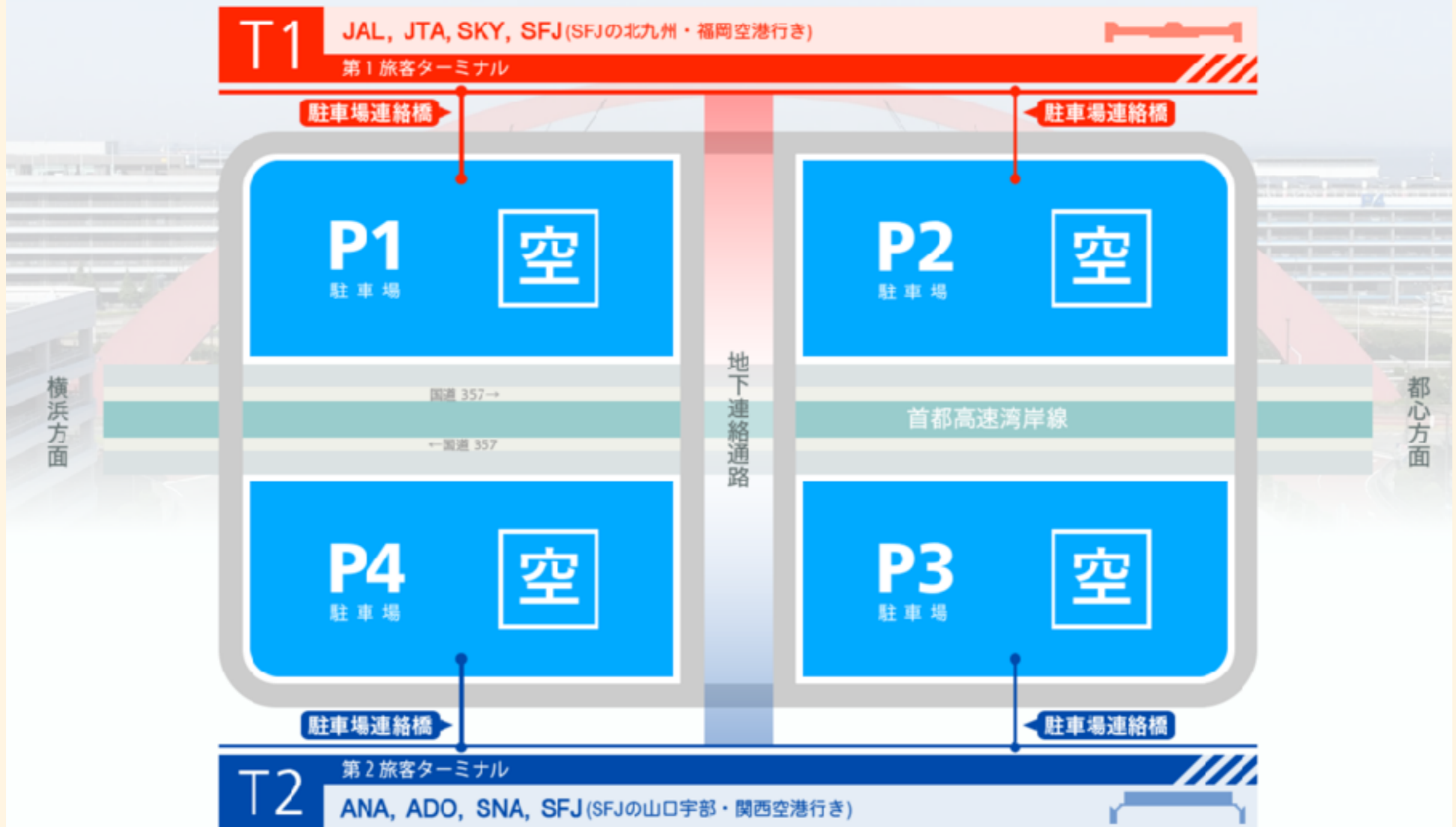
# 1. 安藤ゼミで何を学ぶのか

# 安藤至大ゼミナール

- 2019年度から始まった新しいゼミです
- ゼミの研究テーマは、契約と組織の経済学
  - 企業や組織におけるうまい仕組み作りを考えます
- うまい仕組みとは？

# 例：羽田空港の駐車場

駐車場ご利用案内 / 駐車場のご利用について



# 例：羽田空港の駐車場

## お問い合わせ先

➡ P1（運営：日本空港ビルデング株式会社）

第1旅客ターミナル管理室：03-5757-8191

➡ P2（運営：一般財団法人 空港振興・環境整備支援機構） 

第1旅客ターミナル管理室：03-5757-9498

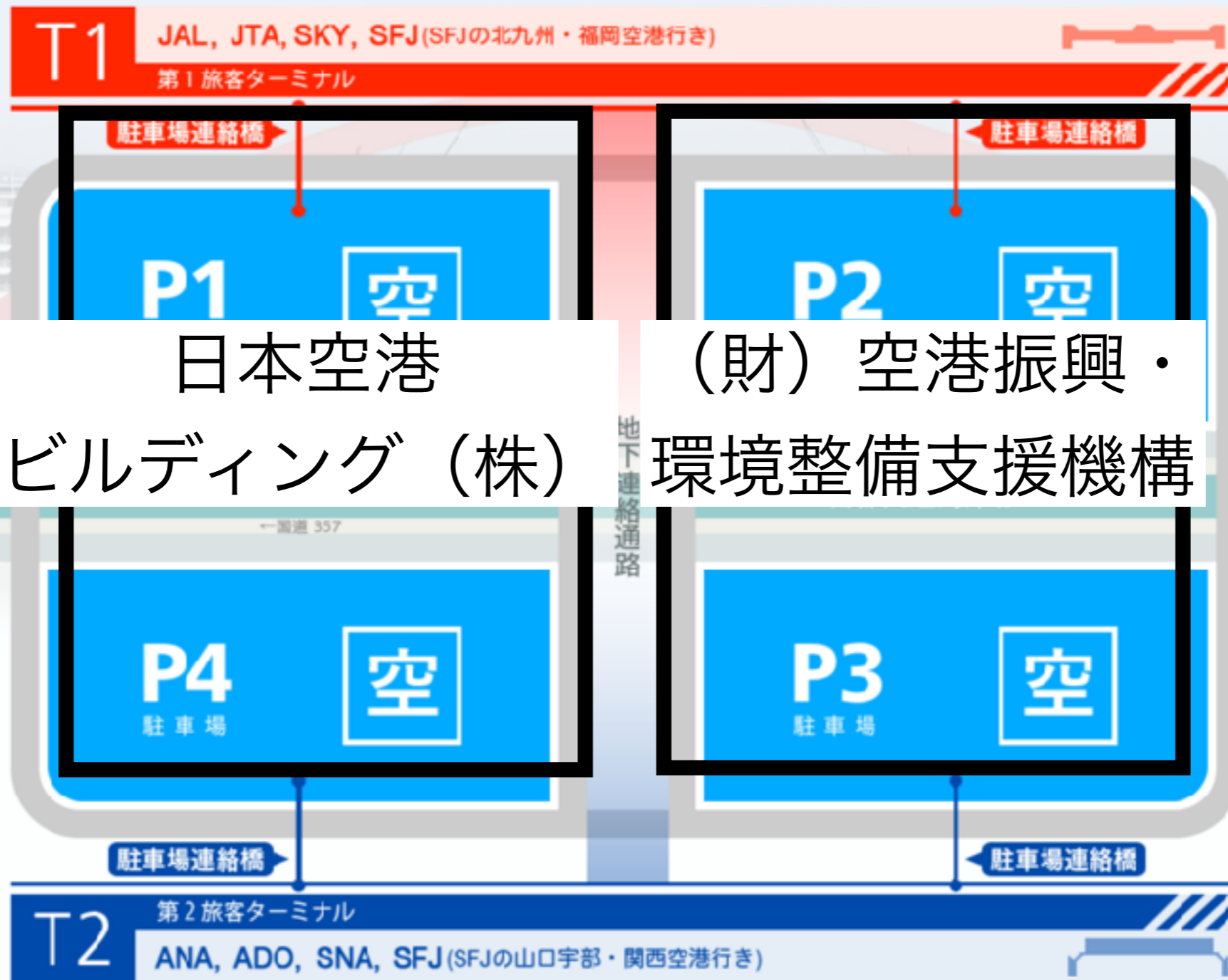
➡ P3（運営：一般財団法人 空港振興・環境整備支援機構） 

第2旅客ターミナル管理室：03-6428-9498

➡ P4（運営：日本空港ビルデング株式会社）

# 例：羽田空港の駐車場

駐車場ご利用案内 / 駐車場のご利用について



日本空港  
ビルディング (株)

(財) 空港振興・  
環境整備支援機構

# 例：羽田空港の駐車場

- 羽田空港では、4つある駐車場の運営をふたつの団体に任せている
  - なぜ全部まとめて委託しないのか？
  - なぜ4社に分けずに、2社なのか？
    - 2社に分けて委託するとしても、なぜP1とP4がセットで、P2とP3がセットなのか？
- 全部まとめるるとどのような問題があるのか考えてみましょう！



# 契約と組織の経済学とは？

- 情報の非対称性に注目する
  - ➡ 品質や能力などの情報が非対称なとき
    - 会社が社員を採用するとき、どんな人を雇う？
  - ➡ 選ばれる行動についての情報が非対称なとき
    - 会社が社員を雇ったとして、どうすればちゃんと働いてくれる？
- 情報を持たない人は、相手の方が情報優位にあることから、だまされないか心配で取引しない可能性がある

# 契約と組織の経済学とは

- どうすれば望ましい取引が実現する？
  - ➡ うまい仕組みを作る！
    - 契約、組織形態、法制度などのデザイン
  - ➡ 現実の社会で実現可能な仕組みであることが大切
    - 社会全体の視点から、または個別の企業や組織の視点から、最善の仕組みとは何かを考える
    - 情報面などの制約があるという現実的な世界において、どのような仕組みが最善か（＝セカンドベスト）を考える

# 自治体のうまい仕組み作り



なぜ駐輪料金を2時間まで無料にしたのか？

**企業や自治体、政府が直面している  
現実の問題に対して  
具体的な解決策を提示できるように  
なりたいと思いませんか？**

## 2. 担当教員の紹介

# 担当教員の紹介



- 安藤至大（あんどうむねとも）
  - 附属中高から法政大学、その後東京大学大学院に進学
  - 2004年に博士（経済学）
  - 2005年から日本大学で働き始めた（大学院担当→研究所）
  - 2018年から経済学部の教授
- 研究している分野
  - 契約と組織の経済学・労働経済学・労働法の経済分析
- 研究・大学での教育・社会での実践という3つの活動

# 担当教員の紹介（続き）

- 政府での仕事
  - 厚生労働省で「働き方改革」の議論
  - 経済産業省で「電力ガスの小売自由化」の制度設計
  - 国土交通省で「分譲マンションの標準管理規約」をデザイン
- 企業との仕事
  - 企業の採用支援や評価制度設計などのコンサルティング
  - 企業や業界団体、労働組合などで講演や研修講師
- マスコミ
  - 新聞・雑誌（日経新聞経済教室欄など）
  - 書籍（教科書や一般向け書籍など）
  - テレビ番組（NHKで経済学教育、NHKや民放ニュース番組など）

# 3. ゼミでの活動内容



# 研究の進め方

## 2年次

- ゲーム理論の教科書を輪読し、練習問題を解く
- 夏合宿では現実の経済問題への解決策を考える
- 契約と組織の経済学について学び、応用する力を身につける
- プレゼンテーション技術を向上させる

## 3年次

- 全員で共通のテーマを決めて調査研究を行う
- 共同名義での書籍を出版するための原稿を完成させることが目標

## 4年次

- 個別のテーマを持ち、卒業論文を完成させる

# 夏合宿の課題：ゼミ入室試験改革

- 現状のゼミ選考の流れ
  - 11月上旬：三崎祭において、ゼミナール説明会の開催
  - 11月上旬：ゼミナール選択希望アンケートの実施
  - 11月下旬：第一次選考
    - 希望するゼミの入室試験を一つだけ受ける
  - 12月上旬：第一次選考の結果発表
    - 決まらなかった学生は、第二次募集へ進む
  - 12月中旬以降、翌年1月まで：第二次から第四次選考の実施

# 夏合宿の課題：ゼミ入室試験改革

- 学生の不満
  - 学生は、選択希望アンケートの結果や前年度までの実績を参考に、どのゼミを受けるかを決める
  - しかし本当は第一希望であっても、倍率が高いことが予想されるゼミを回避する可能性がある→入れたかもしれないゼミを避けるのはもったいない
  - また第二次選考から年明けの第四次まで入室試験がある→配属先が決まらない学生は不安を感じる
- Gale-Shapleyアルゴリズムの提案
  - 1600人の学生と100以上のゼミナールでも最適なマッチングが計算できるコンピュータプログラムが使えるようになった

# 安藤ゼミのゴール

- 最近、先進的な企業は、理論分析・データ分析ができる経済学者を大量に雇用しています
  - Google, Microsoft, Amazon, Facebook, Uberなど
- 日本企業も、経済学者との共同作業を通じて、経済学の知見を活用し始めています
  - JR東日本ウォータービジネスの次世代自動販売機
- 使える道具としての経済学を学びましょう！



# 安藤ゼミのゴール

- ほとんどの学生は、大学卒業後には企業や自治体などで働くこととなります
- 社会で活躍するためには、経済理論を学ぶことと現実の具体例の分析にバランスよく取り組むことが有益です
  - ➡ 企業や自治体などと共同で課題研究を行うことも検討しています
- これからはコンピュータやAIの進歩により、これまで人間がやってきた仕事がなくなる心配もあります
  - ➡ しっかりとした知識に基づいて現実の課題に対応できる知的体力を身につけましょう

# ゼミ生の将来について

- 先生は、大学生のときには就職活動を経験していますし、現在は企業に対して新卒採用の支援活動も行なっています
- 皆さんの就職活動についても、希望者には丁寧にアドバイスします
- 先輩たちも教えてくれます
- 先生は、私立大学から国立大学の大学院に進学し、研究者になりました
- 大学院への進学希望者に対しては全面的にバックアップします

## 4. ゼミの第2期生に求めること

# 入室条件とゼミ生への要望

- ①, 入室者は、簡単なミクロ経済学の筆記試験と面接により決定します
- ②, 向上心を持ち、積極的にゼミに取り組む学生の入室を希望します
- ③, 2年生と3年生は毎回出席して議論に参加することを前提としてゼミを運営します。無断で欠席する学生、また遅刻や早退が多い学生には単位を認定しません
- ④, 2年生に対して、ミクロ経済学とゲーム理論の内容を学習するサブゼミを開講します。サブゼミは参加が必須です
- ⑤, 3年生以降は、後輩を教える役割もお願いいたします